

令和6年度第2回障害者雇用促進プロジェクトチーム（発言要旨）

日 時：令和7年2月7日（金）

14:30～16:00

開 催：対面

参加者：委員10名、オブザーバー1名

1 開会

2 あいさつ

(1) 労働政策課長

- ・群馬県の障害者実雇用率は2.35%と過去最高となったが、全国順位は横ばいである。
- ・群馬県の法定雇用率達成企業割合は53.2%と全国順位は上がり、中位に位置している。
- ・本日は、委員の皆様から様々なご意見をいただき、施策の参考にさせていただきたい。

3 議事

(1) 群馬県における令和7年度事業（案）について

- ・県庁各課より説明

①労働政策課

(委員)

- ・交流会について、これから障害者雇用に取り組む小規模企業にとっては、大企業より同じ小規模の企業と交流を持つ方が取組の参考になる。

(委員)

- ・新規事業と説明のあった「企業と福祉事業所等との交流会」については、どのような内容・規模等で考えているか。

(事務局)

- ・回数は年1回開催を考えている。具体的な内容、規模等は検討中。

(委員)

- ・研修会の回数、内容は見直す必要があると思われる。

(事務局)

- ・令和7年度は企業ニーズを踏まえ、研修会の回数を減らし、その分交流会を実施する予定。研修会の内容については、ニーズを踏まえ検討したい。

②障害政策課 質疑なし

③農業構造政策課 質疑なし

④特別支援教育課 質疑なし

(2) 令和6年障害者雇用状況の集計結果について

(事務局)

- ・群馬県の実雇用率が低迷している主な原因を、次のとおり分析したので、意見を伺いたい。

①企業規模別

- ・小規模事業者（労働者数100名以下）の割合が多く、それらの実雇用率は低い。

(委員)

- ・最低賃金の上昇等により、人材の確保が困難な現状である。

②産業種別

- ・障害者雇用状況の集計結果には、就労継続支援A型事業所（以下、A型）が含まれている。群馬県はA型が少ないことが、実雇用率に影響を与えていると思われる。

(委員)

- ・報酬改定等もあり、A型の運営が厳しい。閉鎖や就労継続支援B型事業所に移行している。

(障害政策課)

- ・A型を支援する事業を令和7年度に実施する予定。

③障害者の状況

- ・法定雇用率達成に必要な雇用すべき障害者数に対し、障害者手帳交付者数が少ない。
- ・新規求職申込件数が近県と比較して、少ない。
- ・重度身体/知的障害者の雇用率が全国1位。
重度障害者を雇用する段階に来ているとも考えられる。
- ・以上のことから、就労を望む障害者が、法定雇用率達成に必要な障害者数に比べ、少ないとも考えられる。

(委員)

- ・重度障害者が必ずしも、重度判定を受けているとは限らない。地域差があると思う。

(3) その他

・障害者雇用促進プロジェクトチームの今後について

本プロジェクトは、これまでにグッジョブフェアの内容検討などの成果を上げてきた。
本プロジェクトは一旦終了とするが、今後は、適宜関係者に意見を聞くこととしたい。

4 閉会